

泌尿器疾患啓発パンフレット

矢真伝心

小児泌尿器疾患ってどんな病気?



Vol.3

小児泌尿器疾患について

小児泌尿器科外来では、小児の腎・泌尿器・生殖器疾患の診断と治療を幅広く行っています。出産前に診断される疾患も増えており、小児科や産科と連携を取りながら診療を行っています。ここでは代表的な小児泌尿器疾患を紹介させて頂きます。

井上：まず、小児泌尿器科という分野について、どのような疾患があるか教えて頂けますか？

澤田：「小児泌尿器科」というと、あまり馴染みがないかもしれません。子供の腎臓、膀胱、尿管、尿道、陰茎や精巣などの尿路・生殖器の疾患を扱う分野のことと言います。大人と共に通する部分もありますが、生まれつきの先天的な疾患が多いことが特徴で、決して少なくはありません。小児泌尿器科領域で多い疾患としては、停留精巣、陰嚢水腫、膀胱尿管逆流症、包茎、尿道下裂などが挙げられます。また、小児の昼間の尿漏れや夜尿なども診察を行っています。小児泌尿器科領域は良性の疾患が多く、適切な時期に治

療・手術を行えば、治すことができる疾患が多いです。

井上：分かりました。では、それぞの疾患について具体的にお話ををお願いします。

停留精巣

井上：まずは停留精巣について教えて頂けますか？

波越：はい。停留精巣とは、陰嚢（おちんちんの下のふくろ）の中

井上：精巣が陰嚢の中にはないこ

とで何か問題が生じるのでしょ

うか？

波越：精巣が陰嚢内に下降する理由として、陰嚢内は体温より1～2°C低いと言われ

ております。精子を形成する環境に適していると言わ

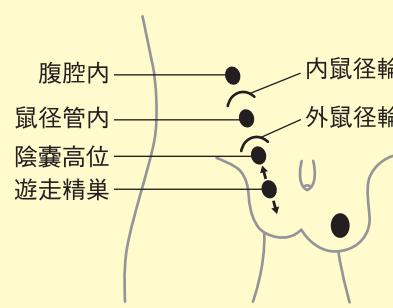
れています。そのため、精

巣を適切な時期に陰嚢

内に手術で降ろしてあげ

ることで、思春期以後の

将来の精子の形成能力



停留精巣の分類

をよくできる可能性があります。また、停留精巣では、思春期以後の精巣腫瘍の発生頻度が高いとされています。しかしながら、精巣腫瘍に関しては、適切な時期に手術を行ったとしても、癌化率を下げる事ができます。癌化率を下げる事ができるかどうかはわかつておりますが、1歳前後に手術を行う事で、癌化率を下げる事はあります。

井上：生後6か月以降は自然に精巣が降りる可能性は低いということですが、停留精巣の手術はいつ頃に行うのでしょうか？

波越：お子様の状況にもよりますが、1歳前後に手術を行う事で、癌化率を下げる事はあります。陰嚢内に固定する手術を行います。下腹部に2～3cm程度の横の傷をくわえて、精巣を見つけます。精巣についている血管と精管、筋肉を丁寧に外してあげることで、精巣が陰嚢内まで届くようになります。陰嚢のしわに沿って1cm程度の横の傷をくわえて、精巣を陰嚢内に引き

る「触知できるタイプ」と、精巣

がお腹の中の高い位置で止まつてしまっている「触知できないタイプ」に分けられます。「触知でき

きるタイプ」は最初から精巣を

陰嚢内に固定する手術を行

ります。下腹部に2～3cm程度の横の傷をくわえて、精巣を見つ

けます。精巣についている血管と精管、筋肉を丁寧に外してあげることで、精巣が陰嚢内まで届くようになります。陰嚢のしわに沿って1cm程度の横の傷をくわえて、精巣を陰嚢内に引き

る「触知できるタイプ」と、精巣

がお腹の中の高い位置で止まつてしまっている「触知できないタ

イプ」に分けられます。「触知で

きるタイプ」は最初から精巣を

陰嚢内に固定する手術を行

ります。下腹部に2～3cm程度の横の傷をくわえて、精巣を見つ

けます。精巣についている血管と精管、筋肉を丁寧に外してあげることで、精巣が陰嚢内まで届くようになります。陰嚢のしわに沿って1cm程度の横の傷をくわえて、精巣を陰嚢内に引き

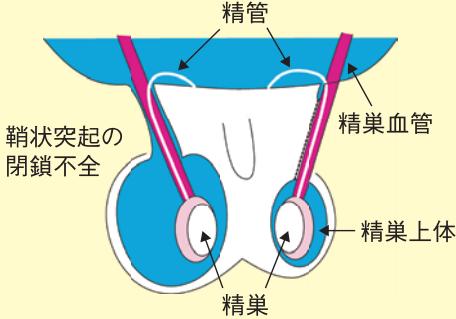
どんな小さいことでもご相談ください。

自然に穴が閉じ、腹腔内との交通がなくなり消失します。しかし、腸管が降りてきている鼠経ヘルニアについては、診断された時点で、手術の相談をします。

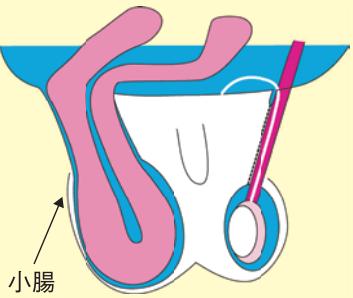
なぜなら、腸管が陰嚢とお腹の穴にはまってしまう、お腹の中に戻らなくなってしまった場合、腸閉塞を起こす可能性があるからです。陰嚢水腫であれば、精巣の成長に影響を及ぼすこともあります。

でも構いません。但し、就学前になつても改善しない場合や、ご両親の希望がある場合には、陰嚢水腫に対しても手術を行います。

陰嚢水腫



鼠経ヘルニア



井上：陰嚢水腫の手術とは、具体的にどのようなものでしょうか？

澤田：手術は鼠経部に2cm程度の傷をくわえて、お腹の中と陰嚢をつないでいる腹膜の穴を見つけます。その穴を切り離し、お腹側の穴を糸でしばることで、それ以上陰嚢内に水がたまらないようになります。

井上：分かりました。陰嚢水腫であれば様子を見てよくなつても、鼠経ヘルニアであれば手術が必要なので、陰嚢が大きいと感じた時は、一度医療機関を受診した方がよさそうですね。

澤田：その通りです。

井上：続いて膀胱尿管逆流症について教えて頂けますか？

波越：はい。「風邪症状がないのに、子供の熱が何日も続く」、このご家族からの訴えで我々は尿路感染症を疑います。尿路感染症とは、尿にばい菌が入ってしまった熱が出てしまつた状態です。

まい、熱が出てしまつた状態です。こどもの発熱、特に赤ちゃんの発熱の原因の5～10%が尿路感染症と言われています。こ

ういうお子さんがおり、その原因として最も多いのが膀胱尿管逆流症という病気です。膀胱尿管逆流症とは、膀胱に溜まった尿が、尿管（尿を作る腎臓と、尿を貯める膀胱をつなぐ管）に逆流してしまう状態のことを言います。

井上：ご家族からの訴えが熱であれば、我々泌尿器科よりも、小児科の先生方が病気を見つけてくれることも多いそうですね。

波越：そうですね。尿検査をしなければ、尿にばい菌が入っているかどうかは分からないので、なかなか熱が下がらない場合は、一度かかりつけの小児科の先生に尿検査をして頂いても



良いかもしれません。

井上：膀胱尿管逆流症は、熱以外の症状はないのでしょうか？

波越：熱以外では、自分でトイレに行けるようになった大きいお子様であれば、「お漏らし」や「頻尿」などの排尿症状から見つかることもあります。その場合

そのような症状があるからと、いつ、必ずしも膀胱尿管逆流症がある訳ではありません。

井上：分かりました。では、膀胱尿管逆流症の原因についてお願ひします。

波越：ばい菌はおしつこの出口から膀胱に入りますが、ここで侵入が止まれば、膀胱炎になることはあつても、熱が出る

ことがあります。膀胱尿管逆流症を治療する目的としては、出来るだけ腎臓の機能が低下しないように、腎盂腎炎を起こさないよ

お子さんは大人のように上手く症状を

うにしてあげることです。

井上：膀胱尿管逆流症はどのよ

うに診断するのでしょうか？

波越：膀胱尿管逆流症は、排尿時の造影レントゲン検査（排尿時膀胱尿道造影）という検査で診断します。方法は、おちんちんの先から膀胱までチューブを入れて、レントゲンで白く写る造影剤を膀胱に入ります。排尿する時にレントゲン撮影を行うことで、逆流があるかどうかがわかります。

井上：続いて、膀胱尿管逆流症の治療について教えてください。

波越：軽度の膀胱尿管逆流症は成長と共に自然に消失します。また、赤ちゃんの時に程度が重くなることがあります。腎盂腎

炎を繰り返さなければ、自然消

失を待てますから、まずは抗菌薬を1日1回少量だけ飲み続け

て、自然消失を目指す治療が中

心になります。この方法は予防投与法と言われます。腎盂腎炎が起ころなければ、1年～数年

に一度造影レントゲン検査を行い、逆流の程度を確認していき

ます。

井上：膀胱尿管逆流症があるか

らすぐに手術というわけではな

いのですね。では、抗菌薬で腎孟腎炎が起ころてしまった場合は

どうなるのでしょうか。

波越：状況にもよりますが、その場合は手術を検討します。手術は大きく分けて2通りあり、一つ

は膀胱の内側から尿管のつなぎ目をはさして、膀胱の壁の中に尿管を埋め込む方法です。膀胱

の壁の中に尿管の通るトンネルを作ることで、膀胱尿管逆流を治します。手術の傷は4～5cm

程度の横の傷で、下腹部のパンツで隠れる位置にあります。もう一つはデフラックスという薬剤を尿管口の周りに注入する方法です。尿管口がデフラックスによつて盛り上がり、逆流が起ります。

井上：分かりました。

夜尿症(おねしょ)

井上：夜尿症で悩んでおられる方も多いと思いますが、夜尿につ

いても教えてください。

波越：はい。夜尿症、いわゆるおねしょとは、夜間に起くる尿漏れのことです。通常5歳頃から

おねしょが気にし始め、小学校に上がつてもおねしょが続く場合

は、病院を受診されることが多いです。また、小学校の中学生や高学年でのお泊り行事を心配され、受診される場合もあります。どの程度のおねしょを問題にするかは、ご両親によって異なりますが、一般的には1週間に1回以上のおねしょが続いて

いることと定められています。また、お子さんは眠りが深く、おねしょをして起きるこ

とはほとんどありません。そのため、おとな様に尿意を感じて起きるということは少ないのですが、精神的なストレスが原因にならるとよく言われますが、小さい時から続いている夜尿症では、余り因果関係はないと言われています。

井上：おねしょのお子様が受診された場合、どのような検査を行いますか？

波越：まず一番大事なのは問診です。昼間の症状も含めて、問診票に沿って答えて頂いていま

す。また、カフェインを含んでいる飲み物を飲んでいないか、普段便祕気味かどうか、寝る前にトイレに行く習慣があるかどうかなども確認します。続いて、尿検査

いれば「夜尿症がある」としています。女の子と比べると男の子

に多く、5歳で15～20%のお子さんに見られ、10歳で5～10%、15歳で1～2%くらいのお子さ

んに見られます。

波越：いくつかの理由が考えられていますが、科学的に完全に解明されているわけではありません。

井上：おねしょをする原因はもうわかっているのでしょうか。

波越：いくつかの理由が考えられていますが、科学的に完全に解明されているわけではありません。

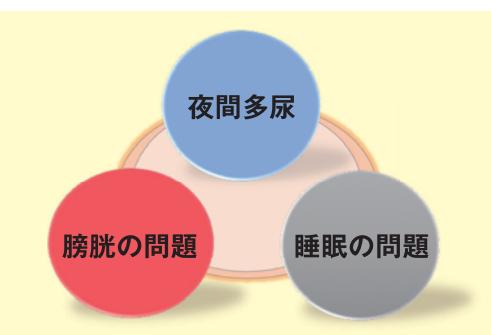
深く、おねしょをして起きるこ

とはほとんどありません。そのため、おとな様に尿意を感じて起きるということは少ないのですが、精神的なストレスが原因にならるとよく言われますが、小さい時から続いている夜尿症では、余り因果関係はないと言われています。

井上：おねしょのお子様が受診された場合、どのような検査を行いますか？

波越：まず、寝る前2～3時間前の水分摂取を減らしてみて頂くよう説明しています。その分、昼間は十分水分をとって、規則正しくトイレに行く習慣をつけ頂きます。それでも夜尿が改善しない場合は、お薬の治療もしくはおねしょアラームを用いた治療を行います。

井上：まずは生活習慣をかえてみて、おねしょが良くなるかどうか見てみるのですね。では、お薬の治療についてまず教えてください。



多くは、夜間に多尿になっていることが多いです。そのため、抗利尿ホルモン薬（尿量を減らす薬）であるデスモプレシンを使います。軽度～中等度の夜尿に対しでは期待ができ、以前の薬に比べると副作用も少なくなっています。但し、体内に水分をとどめておくお薬なので、夕食後以降の水分制限を行う必要があります。

井上：続いてアラーム療法についてお願いします。

波越：アラーム療法は海外では治療の第一選択として用いられています。センサーが尿を感じるとブザーで知らせてくれるのです。長く使うことで睡眠時膀胱容量が増大し、効果が出で効果が表れるものなのでしょうか？

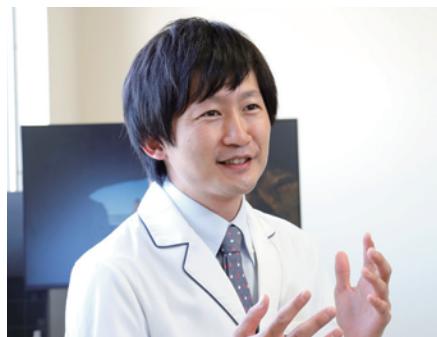
波越：効果が出てくるまでに3か月間は必要とされています。ブザーが鳴つても起きることができないお子様が多いため、ブザーが鳴つたらご両親がお子様を起こしてトイレに連れて行ってあげてください。ご両親が夜中に起きないといけないので、ご両親が途中でつらくなり、脱落してしまうこともあります。

ぐに効果が出るものではないので、根気強く続ける必要があります。

井上：分かりました。夜尿症は、お薬やアラーム療法ですぐに良くなるというものではなく、根気強く治療を続けていく必要があるのですね。

波越：そうですね。悩まれている方も多いですが、最終的には夜尿はほとんどの方が治っていきます。ただすぐに治るということは少ないのですが、長い目で見守つてあげてください。「両親が『焦らない』」ということも、治療の重要なポイントになると考えていいます。

井上：ありがとうございました。



生活指導



①日中に十分な飲水



②夕食を就寝2時間前に済ませる



③夕食後は水分制限（コップ一杯）



④就寝前の排尿



⑤遅寝を避ける



〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部附属病院泌尿器科

TEL.088-880-2402 FAX.088-880-2404

E-mail : urology@kochi-u.ac.jp

URL:http://www.kochi-ms.ac.jp/~hs_urol/